

第1号様式（第c5条関係）

戸田市市民活動サポート補助金応募用紙（2っこり・10じつ）

（宛先）

27年 4月17日

戸田市長

団体名（特非）NPO戸田EMピープルネット

代表者氏名 池上幸子

代表者住所

代表者連絡先

コース	2（に）っこりコース	◎10（じゅう）じつコース
事業名	EM生ゴミ堆肥ペレット化試行事業	
補助年数	1年目	2年目 ◎3年目
実施期間	平成27年 4月 1日 ~ 平成28年2月28日	
事業総額	1,806,097 円	
補助対象経費	1,806,097 円	
補助金申請額	600,000 円	
確定前交付の希望	◎希望する	希望しない
実施場所	戸田市環境経済部環境クリーン推進課所管エコス内	
対象者	戸田市民（バケツ協力者、花と緑のまちづくり、関係機関等）関係者	
申請中又は交付予定の補助制度	名称	ナシ
	実施主体	ナシ

《事業計画書》

1 事業名

EM生ゴミペレット化製造による高齢者・障がい者雇用試行事業と生ゴミペレットの周知普及体制事業。

2 事業の目的

我々都市生活者が持続可能な消費生活を継続する為には食品廃棄物も含めて焼却処分の意識を変えて、最大限にリサイクルを徹底して行い、市民レベルの環境汚染防止活動を実施する。CO2を少しでも減らすことを目的に、市民の協力を得て低炭素都市実現の意識を持ち、EM生ゴミペレット製造を通して高齢者障がい者雇用を推進する。

3 具体的内容

- ① ペレット化製造工程の見直しの中で、担体乾燥工程に対策の一つとしてペレット専用乾燥機の導入等を検討して天候対策の実施を行いたい。
- ② 生ゴミをペレットの原料化する為の機械(蘇生利器)と出来上がった原料をペレット機にかける製造工程と作業員体制作り。
- ③ ペレット製造作業工程の見直し、ペレットを県の堆肥認証をするための協議や収益方法と各種販売支給体制を関係課と協議して検討して行きたい。
- ④ 蘇生利器を活用した、(小魚のエサ)等新たな担体成分形態の研究。
- ⑤ ペレット原料の研究と、新たな需要形態の研究。ペレット堆肥としての研究。

4 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
4月	花フェスタペレット配布体制。
5月	障がい者雇用・高齢者雇用体制の定着性確認
6月	蘇生利器配合原料の研究体制・ペレット機運転作業員体制。
7月	ペレット原料研究・支給体制の検討会議開催
8月	花と緑のまちづくり実行委員会・下水道フェスタ・環境フェア
9月	ー・コンパル祭り等参加の準備・ペレット堆肥化県の認証
10月	各種イベントにペレットの無償配布・テスト販売
11月	ペレットの周知体制とアンケート調査体制の推進
12月	障がい者雇用・高齢者雇用体制の定着性確認
2月	次年度障がい者・高齢者雇用検討会議

5 事業に携わる人数・団体など

NPO戸田EMピープルネット 37名障がい者施設ハーモニー20名
各種関係団体関係人数約100名不特定多数の戸田市民対象。

6 事業実施の際に予想される課題

高度なペレット原料の研究開発。
障がい者雇用の困難な事。
高齢者が抱える残存能力の理解と助け合い。
マンション世帯への普及拡大。

7 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

◎（障がい者雇用）平成27年4月から28年2月まで雇用39日間
指導員39日×1人×2時間×@900円＝税込75,816円
作業員39日×3人×2時間×@802円＝税込202,681円
指導員・作業員の合計278,497円 延べ156名雇用
◎（高齢者雇用）平成27年4月から28年2月まで雇用48日間
月曜日48日×2人×2.5時間×@900円＝税込233,280円
木曜日48日×4人×2時間×@900円＝税込373,248円
月木以外で月4回×11月×2人×2時間×@900円＝税込171,072円
高齢者作業員の合計777,600円 延べ376名雇用。
◎ペレットの県堆肥化認証、販売支給体制の具体化

8 補助終了後に当該補助金に頼らずに事業を継続していく方法

事業実績を積み重ねて障がい者・高齢者雇用事業計画案の委託先を推進開発。
ペレットの新たな需要形態を追及して収益の研究をして行く。例えばペレットの大きさを小さくして乾燥時間の短縮による生産性の向上をしていく。安全性の高い食品残渣を、蘇生利器の中で微生物により発酵分解されて、アミノ酸やたんぱく質に変化した物質となるため、小魚の餌等の転用を研究して収益性を検討していきたい。

今まで蘇生利器から出てくる水分を50%位含んでいる担体（ペレットの原料）を乾燥させないで食品原料としての研究をして、釣り堀等で使用して、釣り堀の練り餌が水底に落ちても、乳酸菌等の善玉菌が働き、釣り堀の魚の元気度が上がり、魚の餌として使用できるように、調査研究をして補助金終了後の事業として新たな需要形態を追及して収益力を上げて行きたい。

《収支予算書》

【収入】

科 目		予 算 額	内 訳
補助金・ 助成金	市民活動サポート	600,000	
	その他		
自己資金		1,206,097	
会費			
利用者負担金			
協賛金・寄附			
その他			
合 計		1,806,097	

【支出】

	科 目	予 算 額	補助金申請額	自主財源	内 訳
補 助 対 象 経 費	賃 金	1,056,097	450,000	606,097	障がい・高齢者
	備品	500,000	100,000	400,000	ペレット乾燥 機
	消耗品費	100,000	25,000	75,000	容器・ネット
	成形資材	150,000	25,000	125,000	ペレット資材
小 計		1,806,097	600,000	1,206,097	
補 助 対 象 外 経 費			—		
			—		
			—		
			—		
			—		
			—		
			—		
小 計			—		
合 計		1,806,097	600,000	1,206,097	